



ランチョンセミナー3 (LS3) Luncheon Seminar 3 (LS3)

ホットバルーンはどう変わった？ バルーン温度表示モデルの活用術

2021.7.1 THUR 12:50-13:50

会場：第3会場

- WEB配信
(Zoom Webinarでの配信予定)
- 学術大会ホームページより参加登録後
WEB開催サイトからご視聴ください。

第67回日本不整脈心電学会学術大会

Annual Meeting of the Japanese Heart Rhythm Society 2021

座長	新田 順一 先生	榊原記念病院 循環器内科 Junichi Nitta, Sakakibara Heart Institute
	曾原 寛 先生	湘南東部総合病院 循環器科 不整脈センター Hiroshi Sohara, Shonantobu General Hospital

当院での表面温度モニタリングの使用経験

演者	奥山 雄介 先生	滋賀医科大学医学部附属病院 循環器内科 Yusuke Okuyama, Shiga University of Medical Science Hospital
----	----------	---

当院におけるHotBalloon温度表示モデルの臨床経験について

演者	福永 寛 先生	榊原記念病院 循環器内科 Hiroshi Fukunaga, Sakakibara Heart Institute
----	---------	--

バルーン表面温度指標でのPVIについて

演者	永嶋 孝一 先生	日本大学医学部内科学系 循環器内科分野 Koichi Nagashima, Division of Cardiology, Department of Medicine, Nihon University School of Medicine
----	----------	--

当院でのホットバルーン使用と次世代品(バルーン温度センサー)の経験

演者	小椋 康弘 先生	名古屋第二赤十字病院 循環器内科 Yasuhiro Ogura, Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital
----	----------	--